

新年が明け、3学期が始まりました。みなさんはどのような新年を迎えましたか。1年生・2年生にとっては、1年間のまとめの時期となりました。そこで重要となるのが、2年生は1月13日・14日、1年生は1月14日に行われる1月進研模試です。

改めて、模試を受験する意味とは、

- (1) 全国の中で自分がどれくらいの位置にいるかを測るため
- (2) 1年間学んできたことがどれくらい身についているかを測るため
- (3) 結果を受けて、自分に足りないところを見つけ、次に向けての目標を設定するため

ということです。大学入試は、高校入試と異なり、全国の高校生がライバルとなります。そのような意味で、模試にしっかりと取り組んで、自分の位置を確認し、これまでの学習の定着度を測り、次に向けての目標を設定し、新学年での学習に向けて復習するということが大切です。

特に、2年生にとっては、いよいよ「受験生」としての本格的スタートを切る時です。昔から言われていますが、2年生3学期は「3年生0学期」ということです。ぜひ、真剣に取り組みましょう。

今回は、模試を「受験する前」「受験当日」「受験した後」にわけて、みなさんにやってもらいたいことを紹介します。実践してみてください。

## 【模試の受験前】

- ・試験前に目標を設定する、2年生は志望校も決定する
  - 例えば、「国語で7割めざす」「前回の模試より各教科10点アップ」といった目標を設定する
  - そのためにも、前回（10月進研模試）の模試結果を振り返り、自分の位置を確認する
  - その結果よりもよくするにはどうすればいいか考える
- ・目標実現のためにできることを具体的に考える
  - 例えば、「数学10点上げるために、どの分野を復習するか」といったこと
  - 復習するにも具体的に何をを使って復習するか、といったことまで計画してみる

## 【模試の受験当日】

- ・いつもどおりに朝起きて、朝食をとる、時間に余裕をもって学校に来る（遅刻するだけで焦る）
- ・自己採点するために、問題冊子に解答をメモする（本番の入試を意識して必ず取り組む）

## 【模試の受験後】 = これが一番大切！ 受けっぱなしで終わったらもったいない！

- ・自己採点をする→「正解、不正解」だけではなく、考え方も含めて採点する
- ・「間違えた問題」と「理解があいまいな問題」をやり直す
  - 「なぜ間違えたのか」「わからなかったこと」について明らかにして、理解があいまいだった単元や分野については、その基礎を学びなおしたり、類題に取り組んだりして、徹底的に理解するように心がける
- ・やりなおしをするために、「模試見なおしノート」をつくるのがおススメ（本当に効果的ですよ！）

今回は、模試を受験する意味と模試に対する心構えをまとめてみました。改めて、模試の重要性を理解してもらい、しっかりと前向きに取り組みましょう！